

JTU-HYOGO  
兵庫高等学校教職員組合  
日本教職員組合(日教組)

# 兵高教新聞

裏面紹介

- ◇ 兵高教第37回中央委員会
- ◇ トルコ・シリア地震後の状況について 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人：西村恭介 編集人：兵高教書記局

## つながる、学ぶ、助け合う。

穏やかな春の陽ざしに包まれ、新年度が始まりました。学校では新しいなかまを迎え、新学期に向けての準備が着々と進められていることでしょう。兵庫県の高等学校、特別支援学校に採用されたみなさま、おめでとうございます。兵庫の学校教育を共に支えていただくみなさまを心より歓迎いたします。子どもたちの豊かな学びを保障し、一人ひとりが尊重され安心していきいきと過ごせる学校をつくるために、力をあわせてとりくんでいきたいと思ひます。

ロシア・プーチン政権のウクライナ侵攻開始から、400日が経過しました。依然として停戦・和平への道筋は見えず、こうしている間にも子どもたちを含む一般市民の犠牲が増え続けていることに、心を痛めずにはおれません。一日も早い停戦・和平を願う気持ちは、みなさん同じだと思います。日本政府は、国民に犠牲を強い、非現実的な軍備増強策に邁進してかえって国家間の緊張を高める愚策に走るのではなく、日本国憲法前文の崇高な精神に基づき、平和を希求する国際社会と協調して和平実現に向けてリーダーシップを発揮するべきです。

2月には、トルコ南東部からシリア北部を大規模な地震が襲いました。これまでに数万人が亡くなり、数百万人が家を失ったと伝えられています。多くの学校も被災し、多くの子どもたちが厳しい寒さの中で避難生活を強いられています。地震そのものは自然災害ですが、大きな被害が出た要因としてずさんな都市開発や違法建築の問題が指摘されています。12年前の東日本大震災の際の原発事故を思い出します。「今だけ、カネだけ、自分だけ」という新自由主義的価値観が世界中に蔓延している中での人災の側面も見逃してはなりません。

日本の子どもたちもまた、必ずしも平和に安心して暮らしているわけではありません。「子どもたちの7人に1人が貧困状

態にある」と言われて久しいですが、状況は一向に改善していません。3年余りに及ぶ新型コロナウイルス感染症の蔓延によって「厳しい立場の人びとにしわ寄せが行く」状況がさらに悪化しています。子どもたちに向き合い、子どもたちを全力で守り、学びの保障のために日々奮闘している教職員も「定額働かせ放題」と揶揄される給特法の下で、心身ともに疲れ切っています。

人権課題へのとりくみについては、日本の現状は世界標準から大きく乖離しており、国連の各種委員会から再三厳しい勧告を受けていますが、政府の対応は一向に改善されません。

このような厳しい社会情勢だからこそ、教職員組合の役割は今まで以上に重要です。全国47都道府県に私たちと志を同じくするなかまがいます。教育インターナショナル(EI)を通じて170の国・地域の教職員団体とも連帯しています。教職員だけではありません。全国・全世界の働くなかまともしっかりとつながっています。教育研究活動をはじめ、多くのなかまとともに学ぶ機会が保障されていることも、教職員組合の大きな財産です。学びの中で真実を見つめ、恣意的に歪められた言説や偏見を打ち破り、子どもたちの命と学びを守るためにとりくんでいきましょう。

職場で、地域で、平和・人権・民主主義という普遍的価値を守るために奮闘している全ての人々と助け合い、より良い社会の実現にむけて、小さな声、小さな力を結集して少しずつ大きくしていきますか。

近年、兵高教には若いなかまがどんどん増えています。平和・人権・民主主義を守り「兵庫の教育に責任を持つ」兵高教の運動に、さらに多くの教職員のみなさまが参加されることを心より願っています。子どもたちのためにも、ともにがんばりましょう。

2023年4月  
執行委員長 西村恭介

### 2023年度執行部

よろしくお願ひします！

本部役員選挙の結果を受け、2023年度の兵高教本部執行部体制が決定しました。

執行委員として新たに齊藤由季さんに加わっていただきました。女性・青年層の視点から新たなとりくみの展開が期待されます。なお、今年度も引き続き、志水ひとみさんに書記局を支えていただきます。

執行部と支部・分会すべての組合員がしっかりとつながり、地に足の着いた実践を積み上げ、兵高教運動を継承・発展させていきたいと思ひます。

兵庫の教育に責任を持つ教職員組合として、インクルーシブ教育の実現、学校の働き方改革の推進、様々な教育課題の解決、現業職員の職のあり方等、教職員をとりにくく諸問題の克服にとりくみ、子どもたちにとって安全・安心な学校づくり、公正なワークルールに基づく働きやすい職場づくりをすすめましょう。

執行委員長

西村恭介

執行副委員長

足立恭信(市科学技術)

書記長

岩井誠(武庫荘総合)

書記次長

阪本真人(西宮甲山)

執行委員

清家大毅(尼崎西)

村上文章(川西緑台)

花房周英(県尼崎)

齊藤由季(武庫荘総合)

立尾仁(視覚特支)

棟安信博(姫路西)

船脇吉広(高等特支)

杉原俊輝(川西明峰)

西林光(東はりまつ特支)

志水ひとみ

監査委員

書記

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。  
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

# 兵高教第37回中央委員会開催



主催者あいさつ



小西ひろのりさんからのメッセージ

3月25日、神戸市教育会館において第37回兵高教中央委員会を開催しました。

冒頭、西村執行委員長はあいさつの中で、「今春卒業式を迎えた生徒たちは、突然の全国一斉休校の下で入学し、3年間を新型コロナウイルス感染症の影響下で、学校行事をはじめ様々な制約の下で過ごさざるを得なかった」と振り返り、子どもたちを支え、安心・安全を守り、豊かな学びの保障のために日々力を尽している教職員への感謝の気持ちを伝え、長期化するロシアのウクライナ侵攻に触れ、「いかなる理由があろうと、ひとたび国家・政府の判断で戦争が始まってしまうと、犠牲となるのは社会的弱者であり、一般市民である」とし、戦争を回避する手段は軍備増強ではなく、外交的努力であることを強く訴えました。2月に発災したトルコ・シリア地震については、被災者に対するお見舞いの気持ちを述べるとともに、大きな被害が出た要因として、さまざまな都市開発や違法建築の問題が指摘されているとし、12年前の東日本大震災の際の原発事故同様「今だけ、カネだけ、自分だけ」という新自由主義的価値観が世界中に蔓延している中での人災の側面も見逃してはならない、と指摘しました。

その後議事に入り、第1号議案「とりくみの経過および当面の運動方針(案)」が岩井書記長から提案され、中央委員からは「観点別評価について、その目的等が教員の間で正しく理解されておらず、生徒に不利益が生じている」「そもそも『評価』とは何のためにしているのか等、本質的な議論が置き去りにされているのではないか」「観点別評価の導入によって、業務量が増加し、負担が大きくなっている」「安全衛生委員会の構成や開催状況について、他校の実情を知りたい」「校長の決断で、子どもたちへの対応が大きく改善された事例がある。校長を動かすためにも私たちが積極的に提言することが必要」など、各学校の現状をふまえた意見が出され、課題を共有しました。執行部からは「観点別評価については、私たち自身でも議論を深める必要があると認識しており、今後学習会等を検討したい」「安全衛生委員会の役割は大変重要であり、少数職種からも委員として参画することが必要。各学校の委員会の構成や開催状況等を本部に寄せてほしい」「県立学校長の裁量権の中で対応可能なことが多く、まず校内でしっかりと意思疎通を図ることが大切。まずは年度当初に分会での校長交渉や校務運営に対する申し入れを行えるよう、本部からもサポートしたい」「女性参画がなかなか進んでいない。次期推進計画策定に向けて、意見・提案をお願いしたい」等答弁を行い、議論を交わしました。

その後、清家書記長より各会計議案が提案されました。

全ての議案は全会一致で提案通り可決され、年度当初のとりくみを決定しました。



## トルコ・シリア地震後の状況について

2023年2月6日にトルコ南部とシリア北部を襲った強い地震と余震による壊滅的な被害に対し、EIは、被災した教職員、子どもたち、住民の支援にとりくむトルコのEI加盟組織であるEgitim Senを支援するため緊急行動アピールを開始しました。日本教職員組合はいち早く呼びかけに応え、トルコ・シリアへの緊急支援を決定しました。

EIは震災直後の数週間には、被災した組合員のための緊急救援活動にとりくみ、現在は生活援助や心理的支援、移転支援など復興援助にもとりくんでいます。Egitim Senの代表は、「国際労働運動からの連帯により、財政的にもその他の形でも大きく支援いただいている」と報告しています。具体的には、EI連帯資金を通じ、Egitim Senは支援を必要とする地域にライフラインを設置し、避難民を施設に収容し、食料、水、毛布、テント、シェルターとして機能するコンテナなどの緊急支援物資を届けることができました。

トルコ政府は国の教育システム全体を2週間閉鎖しました。Egitim Senは子どもたちのメンタルヘルスについて懸念を表明しています。また、震災の影響を受けた地域では、何百もの学校が損壊し、労働組合の事務所も再建しなければならない状況にあります。

トルコ・シリア以外にも、ウクライナ、ミャンマー、アフガニスタンなどへの追加支援も不可欠で、日教組では国際連帯カンパを活用して支援のとりくみを行います。

積極的なご協力をよろしくお願いいたします。  
ご家族やご友人、職場のなかまにもぜひ呼びかけを！  
100円/1口、PayPayご利用可能な方は、右のQRコード(4/12・15:00まで有効)よりカンパ可能です。



JTU-Hyogo

戦争させない、9条壊すな！

## 5・3 兵庫 憲法集会

憲法はあなたの命と未来のサポーター

日時 2023年5月3日(水・祝) 14:00開会  
(13:30~ミニコンサート)

場所 神戸・みなとのもり公園

規模 10,000人

Program

- 13:30 オープニング カオリンズ
- 14:00 開会
- 音楽 カオリンズ
- 14:15 主催者あいさつ
- 14:25 来賓あいさつ
- 14:30 メインスピーカー 松尾貴史さん
- 15:00 スローガン採択
- 15:02 憲法アピール
- 15:05 開会 開会後パレード

Main speaker 松尾貴史さん

プロフィール  
俳優、エッセイスト、演劇作家、カレー店「カレー屋(シニョ)」店主、EVO等、神戸生まれ、大阪芸術大学デザイン学科(グラフィックデザイン専攻)、日本労働組合総連合会、日本ユニバーサル協会、日本ユニバーサル協会理事、NHK「あさイチ」2022年10月「日本の未来」で、読者投票大賞を受賞(2019年、2022年)、読者投票大賞(2022年)など受賞。連続11、毎日新聞日曜版「ちよっど」と連帯。『まじろ』(著)、毎日新聞「あさイチ」2022年「松尾貴史が語る映画、映画の未来」(レドースタッフ)など。

戦争させない、9条壊すな！総がり行動兵庫実行委員会(略称：総がり行動兵庫)  
連絡先：中神戸法律事務所 TEL. 078-341-3332 FAX. 078-361-9990  
e-mail: sougakarhyogo@gmail.com

兵高教は、教職員一人ひとりの働きかた、暮らしかたを支援しています。